※内容一部抜粋

ガブリエル　「――(被せるように)あれ、皆ここに集まってどうしたの？」

ラファエル　「あ、ガブリエル……」

サリエル　「やぁ、ガブリエル」

ガブリエル　「……は？」

ラグエル　「なんだ。ガブリエルとも知り合いか」

カシエル　「だな」

ウリエル　「じゃあ、ラファエルとガブリエルに会いに来た？」

レミエル　「でも、エリルちゃん……なんかすっっっっごい嫌な顔してない……？」

ハニエル　「あらぁ……？　ガブリエル……？」

ガブリエル　「なんでいるの？」

サリエル　「なんでって、君に会いに――」

ガブリエル　「(食い気味に)帰って」

サリエル　「いや……そんな食い気味に言わなくても……」

ガブリエル「帰って、今すぐ帰ってというか帰れ！」

サリエル「そんなぁ……せっかく久々の再開だって言うのに、どうしてそんな事言うの？」

ガブリエル「嫌いな奴と会ったら誰だってこうなるわ！　帰れ！」

サリエル「ひど～い」

ラファエル「あ～……まぁ、こうなるよね……」

ウリエル「あの……？」

カシエル「どういうことだ？」

ラグエル「あんなに不機嫌そうなガブリエル久々に見たぞ……」

ハニエル「いつも楽しそうだから余計よね」

レミエル「エリルちゃん……？」

ガブリエル「というか、なんでこっちにいるわけ？！」

サリエル「俺も降りて来たんだよ。上は暇だからさぁ～……こっちの方が色々楽しいし」

ガブリエル　「どうせろくなことしかしてないんでしょ?!　さっさと帰れ!」

サリエル　「そんなことないさ。バーテンダーの仕事をして、色んな女性と仲良くさせてもらってるだけだよ?」

ガブリエル　「やっぱりろくなことしかしてないじゃん!」

ラファエル　「あーあー、二人ともそれくらいにして。皆戸惑ってるよ」

サリエル　「おっと、そうだった。まだ説明もしてなかったね」

レミエル　「え〜っと……エリルちゃん。その人知り合い……?」

ガブリエル　「知らない人です!」

レミエル　「すごい食い気味!」

ラグエル　「落ち着け……」

カシエル　「あ〜ガブリエル。俺ら、何が何だかわかってないからさ、説明してくれると嬉しいんだけど……」

ウリエル　「知り合い……なんだよね?　ラファエルもみたいだけど」

ハニエル　「どういうご関係?」

ガブリエル　「……」

ウリエル　「――(気づき)ハッ……！　恋人……？」

ガブリエル　「(食い気味に)違う！」

ラグエル　「ウリエル」

ウリエル　「ごめん」

ガブリエル　「……(溜息)……えっと……この人は――」

サリエル　「俺はサリエル。君ら天使とは似てるようで似てない堕天使。
そして――ガブリエルの兄だよ」

沈黙が流れる。

レミエル　「……え」

ウリエルとレミエル、同時に叫ぶ。

ウリエル　「えぇぇぇぇぇーーーーーーーーー！！！！！」

レミエル　「えぇぇぇぇぇーーーーーーーーー！！！！！」

カシエル　「はー！　兄貴だったのか」

ラグエル　「じゃあさっきのは兄妹喧嘩か」

ハニエル　「でも確かに、言われてみれば似てるわね」

ラファエル　「あ。一応言っとくと、サリエルは神達にも認められてるいい堕天使だから」

カシエル　「まぁ……」

ハニエル　「それは……」

ラグエル　「今までの様子を見てれば分かる。反逆の意思も感じないしな」

サリエル　「わかってもらえてるようでなにより」

レミエル　「というか！　エリルちゃんお兄ちゃんいたの?!」

ウリエル　「初めて知った……」

レミエル　「僕も！　聞いたことないよ！」

ラファエル　「あれ、言ってなかったの？」

ガブリエル　「言いたくなかったから……」

サリエル　「なんでぇ？　言ってもいいのに」

ガブリエル　「私が！　言いたく！　なかったの！」

ラグエル　「仲悪いのか？」

カシエル　「喧嘩するほど仲が良いとかじゃなくて？」

ガブリエル　「仲良くないから！」

ハニエル　「……兄妹なのに、堕天使なの？　ガブリエルは天使なのに？」

サリエル　「あー……それすっごい微妙なところなんだよねぇ……。
一応天使の枠ではあるんだけど……俺には悪魔の血が入ってて、翼の形は君らと同じだけど、黒いんだよ」

ウリエル　「……悪魔の血？」

サリエル　「俺とガブリエルの母親は同じ女神なんだけど、
俺の父親は――悪魔なんだ」

衝撃の事実に沈黙が流れる。

レミエル　「え……えぇぇ？！　なにそれ！　どういうこと？！」

ラグエル　「悪魔って……」

カシエル　「おいおい、それ大丈夫なのか？　悪魔って……あの悪魔だろ？
あの厄介な……」

ラファエル　「あぁ……それは……」

サリエル　「大丈夫だよ。悪魔だけど、俺の父親はいい悪魔だったらしいから」

ウリエル　「(小さく呟くように)だった……？」

カシエル、ウリエルの呟きを聞きながら少し考えるように黙り込むと、すぐに明るい声で話し出す。

カシエル　「……。ま、要するに、サリエルはいい堕天使、ってことだな」

ラグエル　「いや、まぁそうなんだろうが……」

ハニエル　「ざっくりし過ぎでしょ」

レミエル　「でも、リエルちゃんのお兄ちゃんだし、悪いやつには見えないよね」

ラファエル　「うん、サリエルはいい奴だよ。俺が保証する」

サリエル　「ありがとうラファエル」

ガブリエル　「……中々噛み砕けない話ではあると思うけど、一応サリエルは、ゼウスにも認めてもらってる堕天使だから、そこは信用して大丈夫だと思う」

ウリエル　「え！　認めてるんだ！　あのゼウスが……」

ハニエル　「意外と天界ってそういうとこガバガバよね」

ラファエル　「昔からね」

ラグエル　「あの神達ならやりかねないことだな」

カシエル　「こういう話聞くと、普段めちゃくちゃ怖いゼウスの印象揺らぐよな」

ラファエル　「意外と優しいんだよね。普段怖いけど」

レミエル　「やっぱり全知全能だから懐も広いんだね～！　普段怖いけど」

ウリエル　「あ！　ていうかそうだよ！　サリエルのことはわかったけど、何しにここに来たの？」

ラファエル　「あ、確かに。何しに来たの？　ただガブリエルに会いに来たってだけじゃないんでしょ？」

サリエル　「いや妹に会いに来たのは間違ってないよ。まぁ、本当の目的は別にあるけど……」

ラファエル　「じゃあ何しに？」

サリエル　「俺もここに住みたいなと思って」

ガブリエル　「はぁ？！」

レミエル　「へー！」

カシエル　「おー同居人が増えるのか」

ラグエル　「また一段と賑やかになるな」

ハニエル　「ようこそ～」

ガブリエル　「ちょっと待って！　まだ決まってないし私は嫌だからね？！」

レミエル　「なんで？　お兄ちゃんと一緒に居られるんだよ？　嬉しくないの？」

ガブリエル　「嬉しくない！　嫌！　絶対嫌！　てかなんで？！」

サリエル　「いやぁ～、ガブリエル達が楽しそうにやってるって上で聞いててさ。
いいなぁ～って前から思ってて、なんだったら俺も混ぜてもらおうって」

ガブリエル　「ダメ！　帰って！　帰れ！」

サリエル　「え～なんでぇ」

ガブリエル　「ダメなもんはダメ！
ろくでなしをシェアハウスに入れるわけないでしょ！」

サリエル　「ろくでなしって……お兄ちゃんに向かってそれは酷くない？」

ガブリエル　「事実でしょうが女たらし」

レミエル　「そういえばバーテンダーって3B(サンビー)なんだっけ」

ガブリエル　「そう！」

ラグエル　「3B？」

ハニエル　「付き合っちゃいけない男の職業の事よ。
付き合うと女の子が幸せになれないっていう」

レミエル　「バーテンダー、美容師、バンドマンだったよね、確か」

カシエル　「バーテンダー……あーーーー(納得)なんかわかった気がする」

ラファエル　「ウリエルどうする？」

ウリエル　「いいよ！」

ガブリエル　「いいの？！」

ウリエル　「うん。人数が増えるのは嬉しいし、なんか楽しくなりそうだし！」

ガブリエル　「えぇー……そんなふんわり……」

ウリエル　「皆もいいよね？」

カシエル　「異議なし」

ラグエル　「いいんじゃないか？」

ハニエル　「大丈夫よ」

ラファエル　「いいと思う」

レミエル　「さんせーい！☆」

ウリエル　「というわけで、オッケー！」

サリエル　「やった。ありがと」

ガブリエル　「（大きな溜息）」

ウリエル　「ガブリエルは嫌？」

ガブリエル　「……皆がいいって言うなら……まぁ……
私だけ駄々こねるわけにもいかないし……」

ウリエル　「うん！　じゃあ満場一致ということで！　ようこそサリエル！」

サリエル　「ありがとう。これからよろしく。ガブリエルも」

ガブリエル　「……はいはい」

ガブリエル、呆れた様子でそっぽを向きながら返事をする。